男木島

おぎじま



Information

【基本情報】
▶面積／1.34㎢（令和2年10月1日現在）
▶本土からの距離／高松港から10.1km
▶人口／132人（令和2年10月1日現在）
▶主な産業／水仙、ひしおみそ

【島内の移動】
徒歩

【問い合わせ先】
高松市 政策課 ☎087-839-2143

迷路のような路地を歩く。美しい集落とオンバが待つ島。

高松港から、フェリーに乗って40分。男木島は、家と家が斜面に重なるようにたつ集落が美しい島です。坂道、細道、石段が迷路のように広がる路地を歩いたり、映画のロケ地になった灯台までウォーキングしたり。たこ飯や讃岐伝統のあん餅雑煮が食べられるお店やカフェもあります。





ジャウメ・プレンサ／男木島の魂

男木交流館

港を降りると待っているのは、瀬戸内国際芸術祭2010のアート作品として生まれたもの。船の乗船券もここで。

高松市男木町1986 ☎087-873-0006
6:30~17:00 休 無休





豊玉姫神社

島の人から親しみをこめて「玉姫さん」と呼ばれている神社。安産の神様としても知られる。島一番のビュースポット。



加茂神社

豊玉姫の夫である山幸彦を祀った神社。社殿に続く参道を歩くと、波の音が。静かな時間が流れる。



男木島灯台・男木島灯台資料館

映画のロケ地にもなった、全国的にも珍しい総御影石造りの灯台。隣にある灯台資料館は、灯台の元職員住宅。館内では全国の灯台の位置など、灯台についてだけではなく、男木島の歴史や暮らしについても知ることができる。

高松市男木町1062-3
☎087-839-2416（高松市観光交流課）
9:00~16:30
休 12/29~1/3
原則日曜日と祝日のみ開館
※荒天時等閉館となる場合がございます。
¥ 無料

タンク岩

約500万年前の火山噴火でできた柱状節理。その形が戦車に似ていることから「タンク岩」と呼ばれている。辿り着くまでは険しい山道。

オンバ（乳母車）

坂道や細道の続く男木島の運搬手段として、島のお母さんたちに愛用されているオンバ（乳母車）を、「瀬戸内国際芸術祭2010」に参加したオンバ・ファクトリーがアートに。島を歩くといろいろなところで見かけることができる。

男木島図書館

築100年の古民家を改装した図書館。島の人はもちろん、旅人も訪れる。

高松市男木町148−1
休 開館日等は、HPを要確認

食事

お食事処 円（まどか）①

魚料理や男木島のおかず味噌「醤（ひしお）」がのった「ひしおぶっかけうどん」が人気（2日前に要予約）。

高松市男木町1925-2
☎087-873-0703
10:30~19:00 休 水曜日



宿泊

漁師yado 民宿さくら ②

たこ壺漁師さんが営む民宿。島の親戚の家に泊まりにきたような温かな雰囲気が魅力でリピーターも多い。人気は「さくら色のたこ飯」。港の近くに大将がセルフビルドしたさくら2も完成。食堂の壁などに、芸術祭参加アーティスト真壁さんの作品が。

高松市男木町1
☎087-873-0515
休 不定休

